

2009年10月14日

## 出張報告書

京都FD開発推進センター  
深野 政之

日程：2009年10月10日（土）・11日（日）  
行事名：ファカルティ・ディベロッパー養成講座  
（主催：愛媛大学 教育・学生支援機構 教育企画室）  
出張先：愛媛大学（愛媛県松山市文京町）  
参加者：深野

### 1. 研修の目的

FDを担当することになった教職員（FDe r）が職場で効果的なFDプログラムを実施するために必要な知識と技術を身につける。

### 2. 研修の目標

- ① FDe rが最低限知っておくべき知識を説明することができる。
- ② FDプログラムのニーズを把握することができる。
- ③ FDプログラムを作成することができる。
- ④ 研修当日にFDe rがすべきことを説明することができる。
- ⑤ 研修の評価方法を述べることができる。

### 3. 研修の形式

愛媛大学の自前講師によるミニレクチャーと、個人作業、グループ作業の組み合わせで進められた。2日間を通じて、小グループに分かれて多くの作業を行ない、その成果物を教室の壁に貼り出して、他グループと共有、相互批評を行なった。

### 4. 総括・所感

今回の研修は四国全域から18名の教職員とその他2名（深野含む）が参加し、講師をはじめスタッフ10名に手厚い準備とコーディネートをしていただいた。

SPODの研修形式は、有名講師を呼んできて講義を拝聴するのではなく、グループワークを中心にした講師（FDe r）の自前主義を特色としており、自前講師（FDe r）による小規模研修を数多く開催している。今回の研修でも、講師とファシリテーターは全員が愛媛大学の教職員であった。講師は医学部（解剖学・医師）と看護学部の教員であり、SPODの連携活動を開始してからFDe rとしての訓練を受けたとのことであった。

2月のFDe r塾では徳島大学の講師（FDe r）をお願いしているので、ぜひこの研修形式を多くの教職員に体験していただきたい。

以上